

造形・美術フォーラム 2023

「地域文化の視点からこれからの アート教育を考える」

吉本 光宏氏



社会経済環境の急速な変化に伴い、子どもたちを取り巻く環境は厳しさを増しており、美術教育にも変化が求められています。講師にお招きする吉本光宏氏は文化政策の分野で幅広い調査研究に取り組まれています。今回は、芸術の社会的なインパクトに関する調査から、教育分野を中心に国内外の事例や成果を報告いただき、これからの美術教育の可能性や課題について私たちも考えてみたいと思います。

日 時 : 2024 年 2 月 12 日(月)13:00~15:00 (会場受付 12:30 Zoom 入室開始 12:45)

参 加 費 : 無料

募集人数 : 100 名(対面 25 名 Zoom75 名を予定)

実施方法 : 対面および Zoom によるオンライン開催

申し込み期限 : 2024 年 2 月 9 日(金)

問い合わせ先 inseajp.seminar@gmail.com または t_ohsugi@musashino-u.ac.jp(大杉)

申込方法 : Peatix

<https://inseajp-zoukeiforum2023.peatix.com>

※上記 URL または右 QR コードよりお申し込みください。

お申し込みには Peatix のアカウントが必要になります。



吉本 光宏 氏

合同会社文化コモンズ研究所 代表
一般財団法人長野県文化振興事業団 理事長

1983 年、早稲田大学大学院(都市計画)修了後、黒川玲建築設計事務所、社会工学研究所、ニッセイ基礎研究所を経て、2023 年 6 月に文化コモンズ研究所代表・研究統括に就任。文化政策や文化施設の運営・評価、創造都市などの調査研究に取り組むほか、国立新美術館や東京オペラシティ、東京国際フォーラムなどの文化施設開発、アート計画のコンサルタントとしても活躍。文化審議会委員、東京芸術文化評議会評議員、(公社)企業メセナ協議会理事などを歴任。

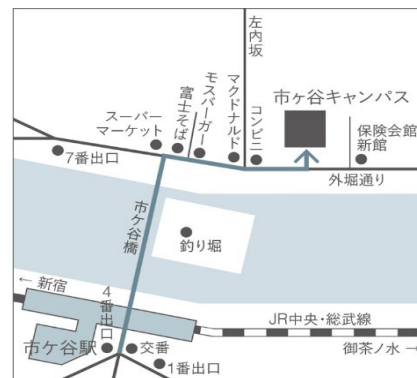
<対面会場>

武蔵野美術大学 市ヶ谷キャンパス

JR 中央・総武線「市ヶ谷」駅下車 徒歩 3 分

東京メトロ有楽町線・南北線「市ヶ谷」駅、都営新宿線

「市ヶ谷」駅 4 番出口下車 徒歩 3 分



公益社団法人 日本美術教育連合

International Society for Education through Art in JAPAN